

都市基盤分野

【背景】

- 本市は、播磨の玄関口である姫路駅を中心とした交通結節機能や商業・業務機能などの都市機能が集積した都心部を有するとともに、国際拠点港湾である姫路港や複数の高速道路のインターチェンジを有する、播磨圏域の交流拠点として、圏域の発展に重要な役割を担ってきた。
- 今後においても、姫路市文化コンベンションセンターや県立はりま姫路総合医療センター（仮称）をはじめ、手柄山中央公園、播磨臨海地域道路など圏域の魅力を高め、その発展に不可欠な都市基盤を着実に整備（※1）していくことが期待されている。
- 山や海など豊かな自然を有するとともに、世界文化遺産・姫路城をはじめとする恵まれた歴史・文化遺産を大切に守り発展してきた本市は、今後も多種多様な資源を活かしながら魅力ある美しいまちをつくり上げていく必要がある。
- 一方で、道路や橋りょうなど、これまで整備してきた多くの都市基盤の老朽化が進行（※2）する中、日常生活に欠かせない上下水道や生活道路などの生活インフラの維持・充実とそれらの活用が必要である。
- 市域が広く、人口の偏在が見受けられる本市においては、暮らしやすく活力あるコンパクトな都市づくりと、隣接市町の中心である連携拠点を含め、各拠点間を安全かつ快適に移動することができる交通ネットワークの構築が不可欠である。



【分野目標】 ～交流と魅力を支える都市基盤～

これまで整備してきた都市基盤を有効かつ効率的に維持活用しながら、より暮らしやすい環境を整え、播磨の交流拠点にふさわしい、地域の特性を活かした快適で魅力ある持続可能な都市を目指す。

※1 主な都市施設の整備年次

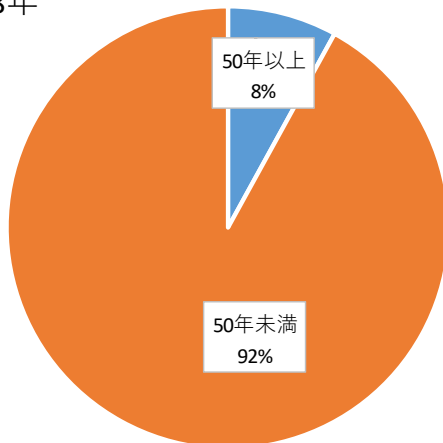
| | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|--------------------------|----|----------------------|------------|----|----|----|----|--------------|----|-----|
| 市施工 姫路市文化コンベンションセンター | | | R3 秋 開館予定 | | | | | | | |
| 市施工 手柄山中央公園 | | 第1期 新体育館 市民プール ほか | | | | | | 第2期 植物園ほか | | |
| 県施工 はりま姫路総合医療センター（仮称） | | | R4 上期 開業予定 | | | | | | | |
| 播磨臨海地域道路 | | | | | | | | | | |

（資料）姫路市 新総合計画推進室作成

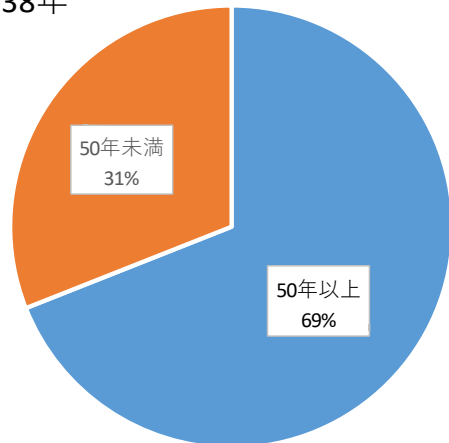
※2 都市基盤の老朽化の推移

■高齢化橋りょうの分布の変化

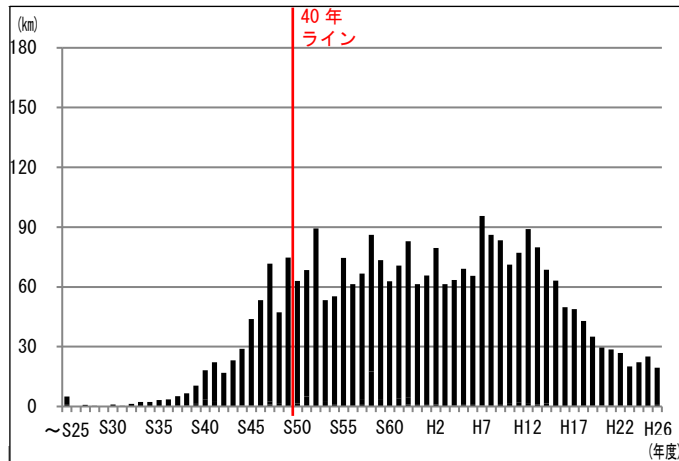
2018年



2038年

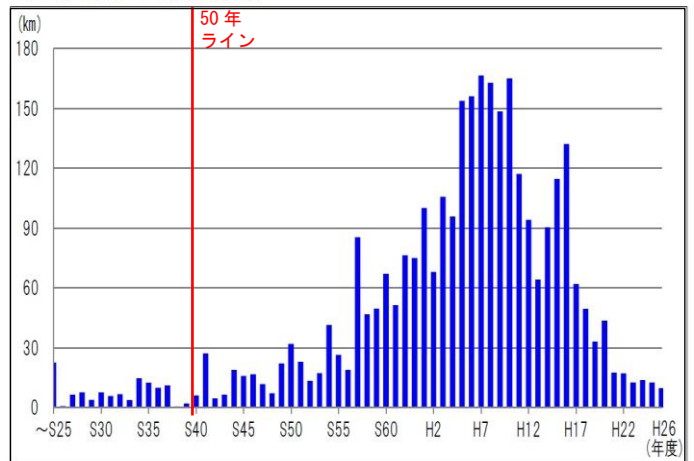


■水道（管路）の年度別整備延長



※水道（管路）の標準耐用年数：40年

■下水道（管渠）の年度別整備延長



※下水道（管渠）の標準耐用年数：50年

（資料）姫路市公共施設等総合計画、兵庫県姫路市道路橋長寿命化修繕計画